

食品×ITの専門情報誌

食品ITマガジン

無料
ダウンロード

食品ITマガジンは内田洋行が発行する食品業界のIT導入事例や、食に関連するお役立ち情報、最新の業界動向などを紹介する情報誌です。各分野で活躍する有識者コラムやITで自社のデジタル化に成功したお客様インタビューなど、様々な情報を発信しています。ぜひ、ダウンロードしてご覧ください。

最新
Vol.26 配布中

バックナンバーも
ご用意しています！



最新号のダウンロードはこちら

<https://pages.uchida.co.jp/foods-it-v26-dl.html>



バックナンバー

<https://www.uchida.co.jp/system/cocktail/food/itmagazine/>



【お問い合わせ】

株式会社内田洋行 食品ITフェアオンライン事務局

juchidafair@uchida.co.jp

セミナー申込はこちら 下記 URL よりご登録をお願いいたします。

https://www.uchida.co.jp/system/f-itfair/?ss_ad_code=FIT26045

お申込み時に「お申込み受付のお知らせ」をメールでお送りいたします。
ご視聴方法につきましては、開催当日までにメールにてご案内いたします。

各セミナーはオンデマンド配信のため、開催期間中いつでもご視聴可能です。



※セミナー内容は都合により変更になる場合がございます。最新情報はウェブサイトでご確認をお願いいたします。
※競合企業様や個人の方のお申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。

UCHIDA



食品ITフェア

FOODs IT FAIR

2026 ONLINE

ITの力を食品業の力に

食品業の課題解決セミナーを15本以上オンデマンド配信
開催期間中いつでもご視聴いただけます

開催日

2026 4/14 < Tue >

— 4/30 < Thu >

セミナーテーマ

生成AI・フードテック・セキュリティ・業界動向・BCP・原価管理・品質管理・トレーサビリティ・基幹業務・受注業務・在庫適正化・ペーパーレス・マーケティング/ブランド戦略

参加方法

参加無料・事前申込制(2026年2月初旬より申込開始予定)

主催

株式会社内田洋行

協賛

株式会社内田洋行 ITソリューションズ、エコー電子工業株式会社、株式会社オーユーシステム

※セミナー内容はやむを得ず変更となる場合がございます。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

申込
URL

https://www.uchida.co.jp/system/f-itfair/?ss_ad_code=FIT26045



セミナープログラム

お申込みいただけますと、4/14～4/30の期間中全てのセミナーを視聴することができます。

S-1 | 生成 AI

Pick UP

製造業の生成AI活用最前線 ～生成AIやAIエージェント活用の最新動向と食品製造業適用の可能性～

AIの進化は製造業にも多くの影響と可能性をもたらしつつあります。一方、日本の製造業においては現場のカイゼン力が足枷となり、AI活用の成果が創出されにくくなっているケースも見られます。本講演では、AIの進化の動き(生成AI→AIエージェント→マルチエージェント、AtoA(Agent to Agent)など)とハノーバーメッセなどにおける最新動向、食品製造業における適用の可能性についてお話しするとともに、日本企業の活用状況、課題、活用に求められることなどについてお伝えします。



合同会社アルファコンパス
代表CEO
福本 勲 氏

S-3 | 業界動向

Pick UP

「月刊食品工場長」前編集長(現副社長)が語る、食品製造業の直面する課題とIT利活用効果

食品製造業が今直面する現状と課題を振り返るとともに、IT利活用によって経営・現場が得る様々なメリットー効率化、自動化による人手不足の解消、人的ミス削減、一貫管理の実現などを、ユースケースをもとに解説します。



株式会社日本食糧新聞社
代表取締役副社長
木下 猛統 氏



S-5 | フードテック

Pick UP

農林水産省が展開する食品産業の省力化投資促進策

食品産業は、国民への食料の安定供給のみならず、成長分野たるフードテックの担い手としても大きな期待を背負っています。我が国食品産業の持続的な発展に向けて、AI・ロボット技術の導入やDX等の省力化投資の重要性が増している中、2025年6月に始動した「食品企業生産性向上フォーラム」の取組など農林水産省が展開する関連政策をご紹介します。



農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室
室長
阿辺 一郎 氏



S-7 | 原価管理

戦略を動かす原価管理 ―食品メーカーで起きがちな「戦略と数字のズレ」とその乗り越え方―

食品業界では、多品種化・人手不足・需給変動への対応など、戦略は大きく変化しています。一方で、原価の見方が従来のままでは、戦略が現場の行動につながらず、かえって逆の行動を生んでしまうことがあります。本セミナーでは、食品メーカーで起きがちな「戦略と原価管理のズレ」を整理し、改革を阻む壁とその乗り越え方を具体事例とともに解説します。すべてを精緻化しない「やりすぎない原価管理」という実践的な考え方をお伝えします。



株式会社日本能率協会コンサルティング
経営コンサルティング事業本部
チーフ・コンサルタント
近藤 駿 氏



S-2 | マーケティング / ブランド戦略

Pick UP

マーケティング起点で考える、食品業界のIT活用

食品業におけるマーケティングを、LTV向上の仕組みづくりとして捉え直します。顧客データの活用や体験設計を通じて、どう関係性を深め、継続的な価値創出につなげているのか。現在進めている実践事例を中心に、マーケティング×ITの可能性と今後の課題を共有します。



カンロ株式会社
常務執行役員マーケティング本部長
内山 妙子 氏

S-4 | セキュリティ

Pick UP

社会を支える食品業界における“よくわからないし無駄にも思える”サイバーセキュリティとの付き合い方

サイバーセキュリティは情報漏洩対策であり、自分のところには大した情報はなく対策は必要ないと考えているところが多い中、やってきたのがランサム攻撃です。漏れても大したことのない情報でも、使えないと大変です。災害などで情報を失っても同じです。また、攻撃者は次々と手を考案してきます。デジタル依存が益々高まる中、早く気づき適切な手を打てる事が肝要です。基本的な考え方を分かりやすくお話ししたいと思います。



株式会社ラック
西本 逸郎 氏

S-6 | フードテック

Pick UP

製造現場のプロが教える食品自動化機器・ロボット導入のポイント

本セミナーでは、食品工場が直面する人手不足や生産性低下の課題をテーマに、現場視点での自動化・省人化の進め方を具体的に解説します。構想段階から設備導入、失敗しやすいポイントまで、実例を交えながら明日から使える考え方をお伝えします。



Robots Town株式会社
代表取締役
白坂 紳滋 氏



S-8 | 品質管理

食品表示制度の最新動向 ～個別品目ルール見直し、デジタルツールの活用の今後を中心に～

2025年度の食品表示基準改正(アレルギー表示、個別品目に関する別表、機能的表示食品制度に関する改正)、食品表示制度に関するガイドライン(期限表示に関するガイドライン見直し、日本版包装前面栄養成分表示)、デジタルツールの今後の食品表示制度に関する検討等を中心に、最新動向について解説します。



一般社団法人Food Communication Compass
代表
森田 満樹 氏

S-9 | BCP

食品工場のシステム障害対策～現場で役立つ対応策と復旧方法～

多くの食品工場で使われている生産管理や受発注システムが、ウイルス等で利用できなくなった場合の対応と復旧方法を解説します。バックアップやトレースバックシステム、帳票保管の考え方、間接部門の生産性向上策など、現場で役立つ具体的な方法を紹介します。



食品安全教育研究所
代表
河岸 宏和 氏

S-11 | トレーサビリティ

標準でつなぐ原材料、仕組みで守る食品工場 ―GS1標準バーコードによる識別と、入荷～出荷の一元管理で確実化する―

食品原材料の管理効率化とトレーサビリティ確保をテーマに、GS1標準バーコードの活用方法をご紹介します。期限情報やロット番号を自動化し、業務効率化と安全性向上を実現するガイドラインを解説します。

GS1 Japan(一般財団法人流通システム開発センター)
ソリューション1部グロスリー業界グループ グループ長

岩崎 仁彦 氏

株式会社サトー



S-13 | 事例×製造現場のペーパーレス

事例講演

アラハタの製造現場DX 一年間約30,000枚削減実績から学ぶ帳票電子化の進め方―

1932年創業のジャム・フルーツソース等を製造するアラハタ様は、これまでExcel・紙で運用していた製造工程における点検・記録や品質保証部における出荷検査記録等の業務において、「現場での運用のしやすさ」を重視した帳票電子化を実現しました。毎年使用部署を広げ、他部署への展開も行い、年間約30,000枚を削減。いかに成し遂げたのか、推進ご担当者様に導入・運用の工夫と、今後の展望についてご講演いただきます。



アラハタ株式会社 ジャム工場
生産次長
上田 洋介 氏



S-15 | 事例×基幹業務

事例講演

食品・菓子卸の現場が変わる 請求・営業・物流のデジタル活用実例

「紙の処理が多い」「営業の動きが見えない」「物流業務の属人化・負荷増加」―そんな食品卸売企業に共通する悩みを、どうすれば解決できるのか。本セミナーでは、文書自動配信サービス「AirRepo」による請求書電子化をはじめ、SFA・ハンディターミナル活用による現場業務改善手法を、実例を交えて解説します。青森の老舗食品卸企業である菓子卸センター坂下商店様とシンドウ様が実際に取り組んだ「現場の変わり方」を、明日から使えるヒントとしてお伝えします。

株式会社内田洋行ITソリューションズ
営業本部東北支店民需営業部民需営業課
課長

溝江 大騎



S-17 | 生成 AI

【今すぐ役立つ!】製造業を中心とした生成AIの活用例と組織内情報の活用について

生成AIの活用例について「今すぐ役立つユースケース」をメイントピックとしてご紹介致します。また、それぞれの事例での“成功ポイント”と“苦勞ポイント”をお伝えします。加えて、生成AIを活用するために必須となる“データの構造化手法”と、これからの組織内データの管理についてもご説明致します。

株式会社内田洋行
スマートインサイト事業部 インサイト推進部 特命部長

山口 了以



S-10 | セキュリティ

自社とサプライチェーンを守るセキュリティ経営～事業停止リスクの回避とセキュリティ対策評価制度の活用～

サイバー攻撃は今や、ITの問題にとどまらず、事業停止に直結する経営やサプライチェーン全体の重大なリスクです。こうした中、2026年度末には新たな「セキュリティ対策評価制度」が始まる予定です。本セミナーでは、事業停止リスクを避けるために、新制度がどのようなものか、昨今の脅威と照らし合わせながら、何を意識して準備を進めるべきかを解説します。



株式会社Blue Planet-works
コーポレートマーケティング本部
プロダクトマーケティングマネージャー
星野 貴章 氏



S-12 | 事例×基幹業務

事例講演

トモエ乳業の現場改革舞台裏!～システムで変わる製造・在庫管理・原価計算業務～

設立70周年を迎え、学校給食にも選ばれる老舗乳業メーカー・トモエ乳業。グランドデザイン2030年トモエビジョン実現に向け、ITを軸に業務改善を進め、工場運営最適化や原価計算の精度向上、作業平準化などに挑んできました。本講演では、システム導入の裏側と実践効果をプロジェクト責任者よりご紹介いただきます。



トモエ乳業株式会社
管理部システム課 課長
廣木 和人 氏



S-14 | 事例×受注業務

事例講演

生成AIで数十年越しに解決!人にしかできなかった受注入力自動化をAIエージェントで目指す

受注処理に人の判断が必要でなかなか自動化できないという企業様は多くいらっしゃるのではないでしょうか。Knowfa受注AIエージェントは受注業務の自動化に特化し、人の判断を含めた完全自動化をご支援します。本講演では、神戸を代表するお土産「神戸プリン」で知られるトーマク様の導入事例をふまえ、人にしかできないと思われていた受注業務の自動化に向けた解決策を解説いたします。



ユーザックシステム株式会社
AIエージェント事業部 事業部長
上野 真裕 氏



S-16 | 事例×在庫適正化

事例講演

発注業務の効率化と物流変革対応への挑戦

発注業務における人手での作業、属人化及びそれに伴う業務判断の個人依存等の課題を改善、また、市場動向の変化による商品出荷場所の比率の変動に対する発注時点からの“物流対応”への挑戦について、解決手法と事例をご紹介します。



株式会社フェアウェイソリューションズ
ソリューション事業部 スマート導入推進部
部長
松浦 佳邦 氏

